

※本説明書は取付け後も廃棄せざる使用者様にお渡しください。

■施工・取扱説明書 / Installation・Instruction manual / 施工・安装说明书

レバーハンドルセット(LJケースロック)

KAWAJUN
www.kawajun.co.jp

美観を保つために定期的な日々のお手入れとお部屋の換気を行ってください。

※長期間空気が循環しない環境は、変色・腐食の原因となるおそれがあります。

【レバーハンドルのお手入れ方法】

1. お手入れは、乾燥した柔らかい布で軽く拭いてください。
2. 汚れがひどい場合は、水拭き、または水で薄めた中性洗剤(5%~10%程度)を含ませた布で拭いた後水拭きし、その後乾いた布で水分をしっかり拭き取ってください。
3. お手入れ後は換気を行ってください。

△中性洗剤以外の洗浄剤は使用しないでください(トイレ用洗剤、塩素系洗剤、酸性・アルカリ性洗剤、クレンザー等使用しないでください)。

△ベンジン、シンナー、アルコール等の有機溶剤や、防カビ剤などは使用しないでください。

より詳しい製品のお手入れに関しましては、KAWAJUN公式サイトFAQ内の「製品のお取扱いについて」をご確認ください。

KAWAJUN公式サイトFAQは右記QRコードまたは以下URLからご覧いただけます。

<https://hw.kawajun.jp/faq/#faq-care>



安全上のご注意(必ずお守りください)

※必ず施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しく設置してください。

※工具が付属の場合は本説明書と共に必ずご使用者様にお渡しください。

■施工を誤った場合、使用者に生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

△警告 この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

△注意 この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合または物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

! この図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

🚫 この図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。

△警告

取付けに関する警告

! ※強度のない扉には取り付けないでください。製品が落下してケガをするおそれがあります。
※製品を取付ける位置はフラッシュ構造等の空洞でないことをお確かめください。

! 取付け後、必ず製品が完全に固定されているかご確認ください。固定が不完全な場合、落下してケガをするおそれがあります。

! 取付け後、必ず動作確認を行ってください。取付けが不完全な場合、動きが悪くなり、閉じ込め事故が発生するおそれがあります。

🚫 当製品は40kg以下の室内木製扉向けです。重量扉や金属扉などにはご使用できません。

🚫 他社パーツと組み合わせての取付けはおやめください。正常に動作せず、動きが悪くなり、閉じ込め事故が発生するおそれがあります。

🚫 当製品は屋外や浴室など水がかかったり湿気が多い場所には設置しないでください。部品などの腐食により、製品が落下してケガをするおそれがあります。

△注意

取付けに関する注意

🚫 プレート固定ネジ・サムターン固定ネジは締めすぎない様にしてください。扉が割れたりケースを圧迫して動きが悪くなる場合があります。
※電動工具を使わず、手動で動作確認をしながら締めてください。

🚫 ハンドル等に付いている養生シートや養生袋は工事終了まで外さないでください。

△警告

ご使用に関する警告

! 製品の取付けネジ等が緩んだ場合、必ず締め直してください。ガタついた状態で使用し続けると落下してケガをするおそれがあります。

🚫 用途以外のご使用はしないでください。動きが悪くなり、閉じ込め事故が起きたり、破損してケガをしたりするおそれがあります。

🚫 製品に無理な荷重や強い衝撃を与えないでください。動きが悪くなり、閉じ込め事故が起きたり、破損してケガをしたりするおそれがあります。

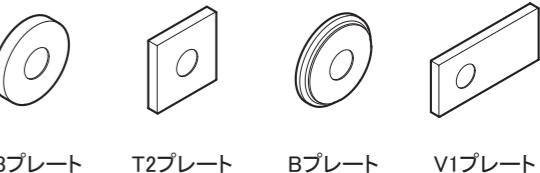
△注意

ご使用に関する注意

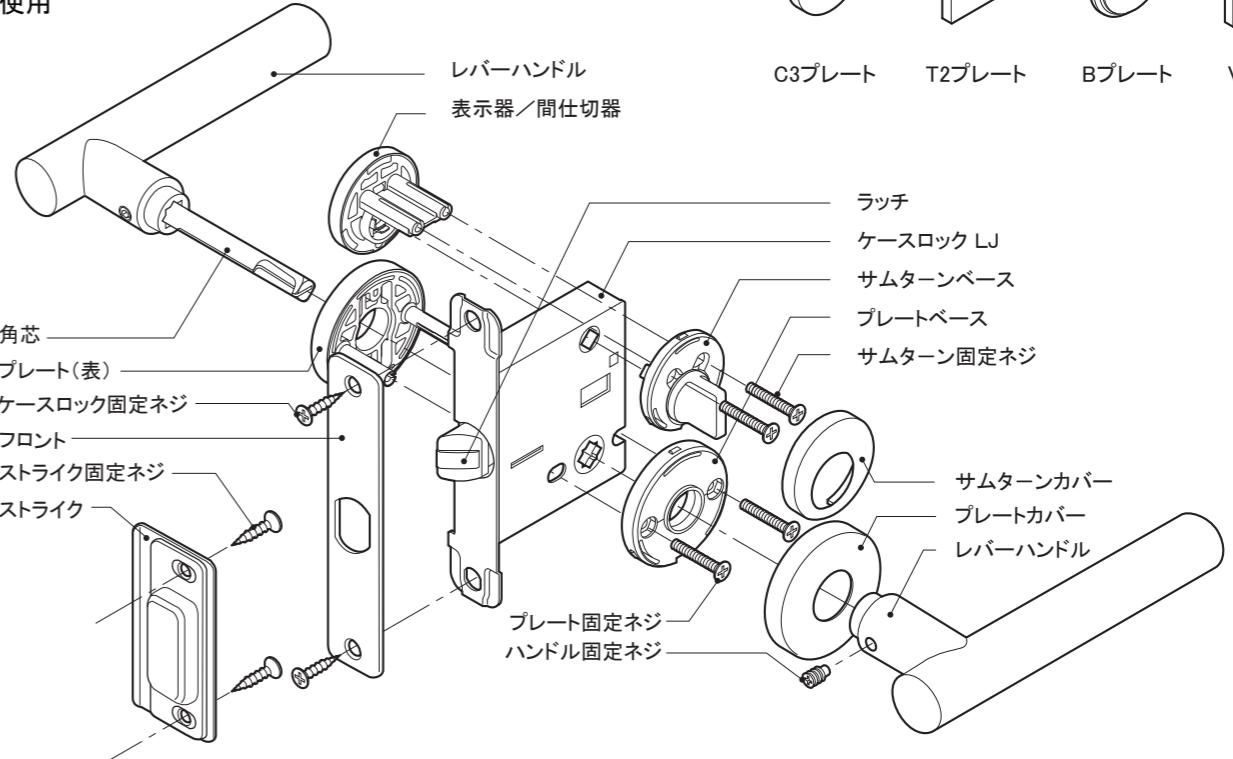
🚫 化粧品や薬品が付着しない様にしてください。付着した場合はすぐに、完全に拭き取ってください。
放置しておくと変色や腐食、劣化して破損しケガをするおそれがあります。

セット内容と各部の名称

C3/T2/B/V1プレート

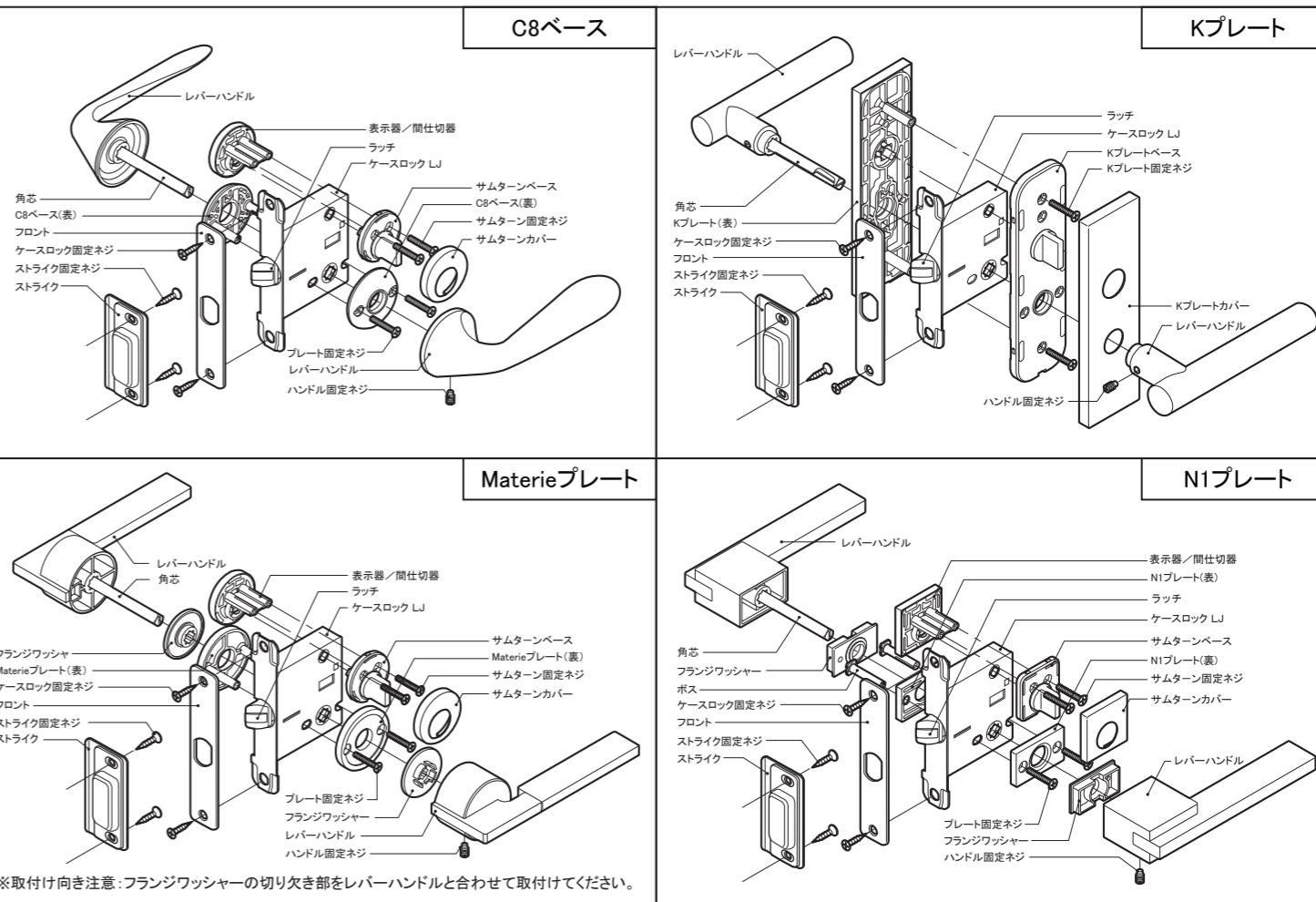


※図はC3を使用

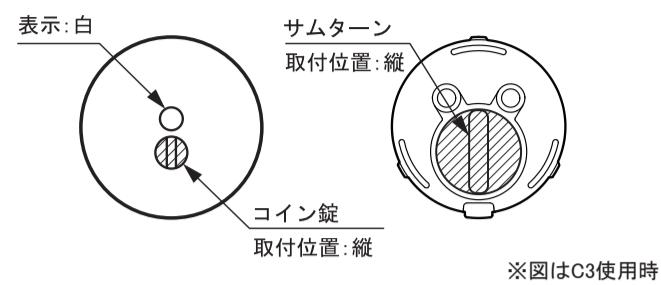


●ハンドルの取付けについて

ハンドル固定ネジを締め付ける際は、隙間の無いよう反対側のレバーハンドルに押し付けた状態で締め付けてください。



取付け前の調整

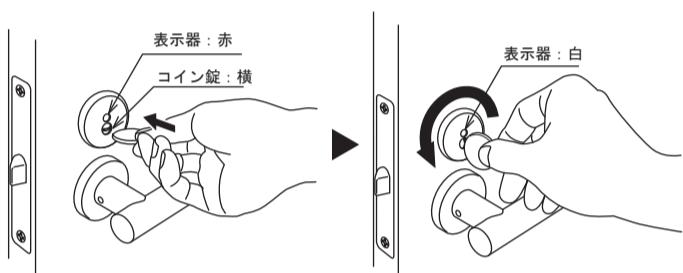


ケースのラッチが開錠状態(ラッチが引込む状態)のときに
サムターン、コイン錠は最初に本図位置の状態で設置してください。
※取付け後に正常に機能しなくなる恐れがあります。

表示器側からの解錠の手順(緊急時)

※室内側から鍵がかかってしまった場合

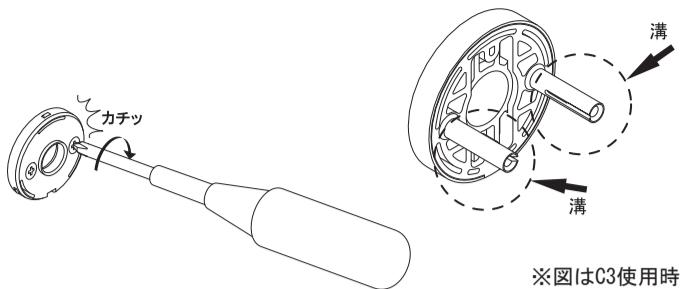
施錠されている場合以下のような状態になっています。
コイン錠の溝にコイン、またはマイナスドライバーを入れます。



・レバーが右にある場合
コイン錠を左に回すと解錠になります。

・レバーが左にある場合
コイン錠を右に回すと解錠になります。

プレートの取付け



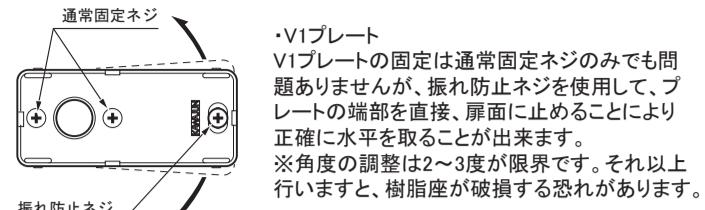
プレート及び、表示器のボスには溝が切っており、締め終わりを「カチッ」と音で知らせるようになっています。(Materieプレートを除く)

締め込んでいき「カチッ」と鳴った後、さらに約半回転を目安に、動作を確認しながら締めこんでください。
※「カチッ」と「カチッ」の間で止めます。

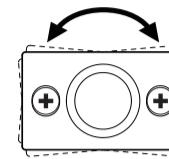
特にMaterieプレートや簡易シリンダー錠ご利用の際は、ネジの締めすぎには注意してください。扉が割れたり、ケースを圧迫して動きが悪くなる場合があります。

※電動工具は使用せずに、手動で動作確認を行いながら締めてください。

座の取付け角度調整(V1プレート・N1プレート)

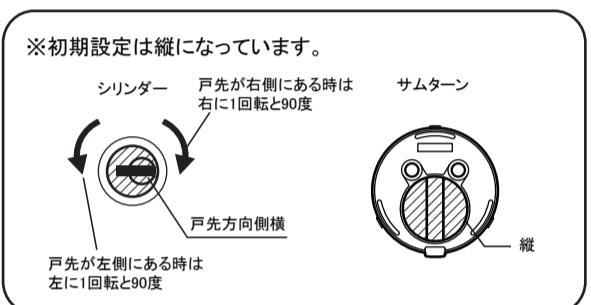
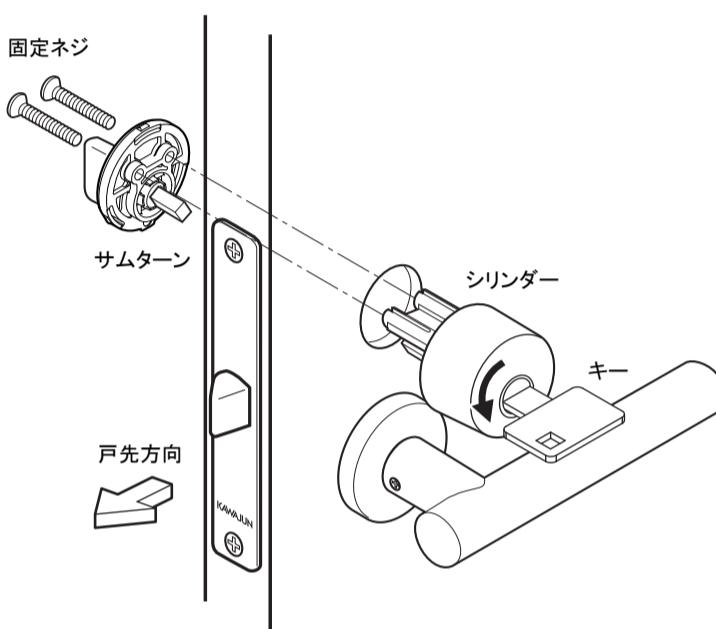


・V1プレート
V1プレートの固定は通常固定ねじのみでも問題ありませんが、振れ防止ねじを使用して、プレートの端部を直接、扉面に止めることにより正確に水平を取ることができます。
※角度の調整は2~3度が限界です。それ以上行いますと、樹脂座が破損する恐れがあります。



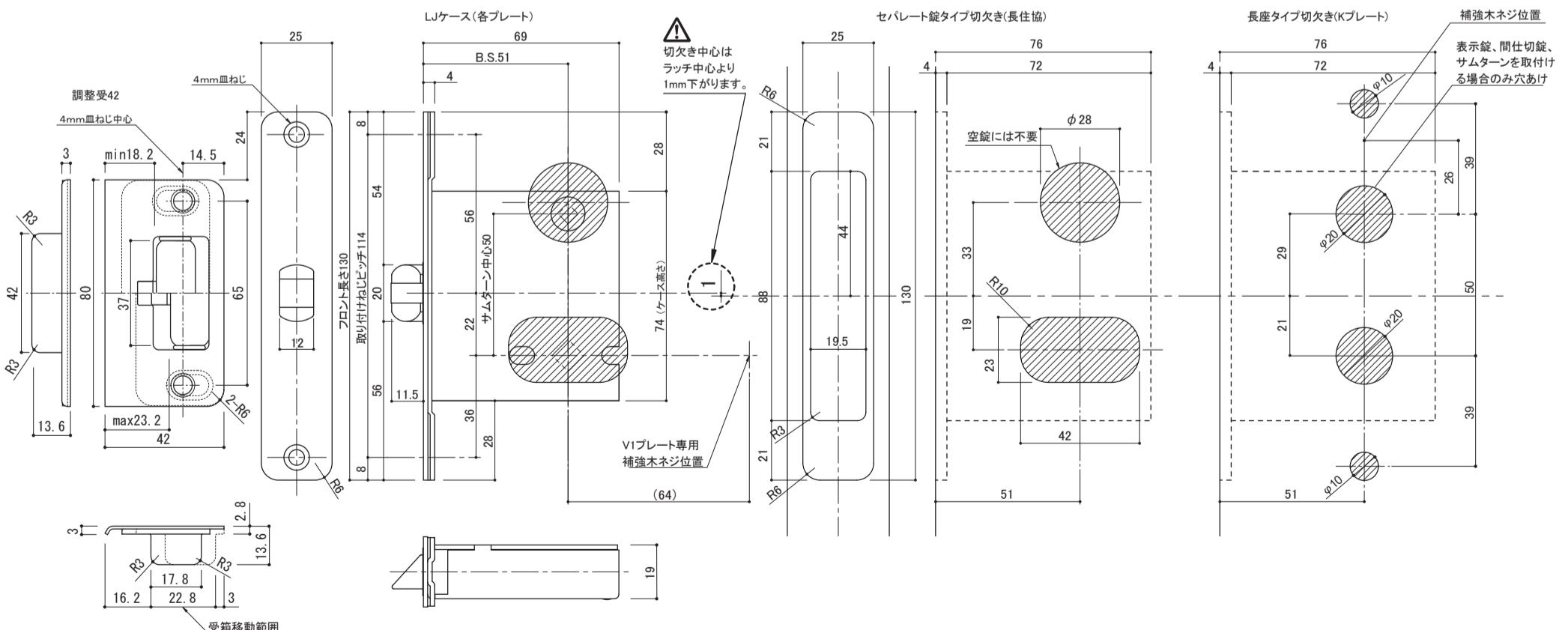
・N1プレート
取付け後でも、プレート固定ねじを緩めることでプレート(表)とプレート(裏)を、それぞれ角度を調節することができます。角度調節後は、必ずネジを締め直してください。

簡易シリンダー錠の取付け



- はじめにケースロックが施錠状態でないことを確認してください。
 - シリンダーに付属のキーを差し込み、取付ける扉の戸先側に一回転させ、さらに90度回して、鍵穴が戸先側に向いた状態になります。その後、ケースロックに差し込みます。
 - サムターンが縦位置の状態で、シリンダーとサムターンの位置を確保しながら差し込み固定ねじで固定してください。
 - 鍵が正常にロック解除できるか動作確認を行ってください。
「キーが回らない」「キーが抜けない」といった場合は、取付け不具合の可能性があります。取外して付け直してください。
 - サムターンのカバーを取り付けてください。
- ※イラストは丸座タイプの例ですが、角座も同じ要領で取付けてください。

LJケースロック寸法図/切欠き図



切欠穴

注1) 切欠穴は上記切欠寸法で必ず行ってください。上記寸法外で施工しますと作動不良の原因になります。

注2) 機強木ねじ(お客様手配品) 通常では不要ですが、経年変化等によりまれに発生する座の浮き上がりや反り、ガタの抑制効果があります。